

I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

※釧路市では、小学3～6年生と中学1年生～2年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に小学1年生においても実施しています。

① 各学年の標準学力検査の状況

(小学校 国語)
 ・事柄の順序を考えながら、説明文を読み取ること／既習漢字や語句を正しく使い、書くこと
 ・国語辞典や漢字辞典の正しい使い方／読書量に対する語彙力が伴っていないことが課題としてあげられる。

(小学校 算数)
 ・大きな数の位取りとがい数の処理／小数や分数の仕組みと四則計算／2つの数量を簡単な比に表す
 ・倍数と約数、公約数と公倍数の関係／平行と垂直の関係 が課題としてあげられる。

(中学1年生)
 ・国語の漢字を書くことにおいて、若干の課題が見られる。

(中学2年生)
 ・個々人の学力差が非常に大きい学年であるが、国語に関しては全体的に点数が高い傾向が見られる。
 ・数学やその他の教科において、問われている問題の意図をしっかりと読み取る力や、問題を解く力に課題が見られる。

② 学校の状況

(小学6年生)
 ・新聞やテレビのニュースやクイズ番組を視聴する機会が少なく、事象に関する事柄への関心が低い。
 ・体育の時間以外に自分で運動に取り組むことが少ない。
 ・メディアやゲームをする時間を自分で決め、遵守しようとする意識に課題が見られる。
 ・地域の行事に参加した体験が、ほとんどない。

(中学校)
 ・規則的な生活習慣を、家庭と連携して生徒に伝えていく必要がある。
 ・学年ごとの学力差が大きく、個に応じた指導を展開するにあたり、前年度の授業案やプリント等を使用することができず、その都度、授業案を練り直す必要がある。
 ・小中連携に関わり、小学校との連携が日常的に様々な場面で必要となっている。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各授業において、発表資料や調べ学習のまとめなどで、タブレットを活用する機会が大幅に増やす。 ○ 復習や、発展的な学習の1つとして、タブレットドリルを活用する。 ○ 個に応じた指導をすすめて、児童生徒が自らの意見や考えを発表する場面を、各授業において多く取り入れる。 ○ 小中連携した校内研修を充実させ、少人数での対話的な授業づくりや深い学びにつながる授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校においては、学校図書や図書館バス、読書活動サポートセットを活用し、朝読書の継続に取り組むことで、本に親しむ習慣をつけることを継続する。 ○ 中学校では、毎朝読書の時間を設定することにより、休み時間も読書をする姿が多く見られ、継続して取り組む。 ○ 児童生徒が、積極的にICTを活用し、主体的な学びにつなげる。 ○ 話し合い活動の経験を増やすために、学年の枠を超えた活動を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習シートや提出物を毎日確認し、教員からのアドバイス等を繰り返すことで、意欲の持続と習慣づけに継続して取り組む。 ○ メディアに関する講座を児童生徒が保護者と共に受け、各家庭において約束事を守られるよう指導する。 ○ 引き続き各家庭と連絡を密にとり、児童生徒の理解に努める。 ○ 家庭学習について、定期的に保護者へ協力を仰ぎ、家庭学習の定着と内容の向上させる。

② 各学年の指導の重点

小学1年生の重点	小学2年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 国語・算数においては、基礎・基本の定着に重点を置く。 ◎ 個別の学びを重視し、児童の実態に合わせた課題、問題、発問について精選する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 一斉指導と並行して、個への対応をしていく。 ◎ 基本的な学習へ向かう姿勢として、必要に応じて家庭での協力を願う。
小学3年生の重点	小学4年生の重点
(欠学年)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 国語辞典を積極的に活用し、児童の語彙量を増やすと共に、文章の読み取りや内容を理解する力をつけていく。 ◎ 自分の思いや考えを表現できるよう、1分間スピーチに取り組み、表現力をつけさせていく。 ◎ 間接指導時に、自学できるような声かけをしていく。
小学5年生の重点	小学6年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 継続して日記を書く取り組みをしているが、児童の書く力がより一層向上していくよう、工夫改善に努めていく。 ◎ 算数の図形学習において、可能な限り実物を用い、児童が体験しながら学習内容を体感できるよう努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ より効果的な家庭学習の方法を、児童個々にアドバイスしていきながら、児童の音読向上への手立てを図る。 ◎ 算数における小数や分数のしくみなどについて、学び直しをする時間を確保していく。
中学1年生の重点	中学2年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 分数のわり算や比の値を求めることについて、学び直しを図り、定着度を確認する時間を設けていく。 ◎ 全ての教科において、定期的を書く活動を続け、思考・判断したことを表現できるよう、生徒の表現力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 異学年との交流の中で、適切に自分の思いや考えを伝えることができるような支援をしていく。 ◎ 基礎的・基本的事項の定着や読み解く力が身につくよう、家庭学習の質の向上させるとともに、放課後学習を充実させる。
中学3年生の重点	
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 各教科における個々人の課題を明確にし、タブレットでの課題やプリントに書く課題などを継続して取り組ませる。 ◎ 既習事項を復習する機会を定期的に行い、スパイラル学習を進めていく。 	